

産衛だより

平成 26 年度第 1 回理事会議事録

日 時：平成 26 年 4 月 12 日（土）13：00～17：00

場 所：東京八重洲ホール

出席者：圓藤吟史（理事長）、東 敏昭（副理事長）、大久保靖司、川上憲人、五味秀穂、角田 透（以上業務執行理事）、五十嵐千代、大前和幸、萩野景規、加藤 元、岸 玲子、久保田昌詞、車谷典男、齊藤政彦、柴田英治、菅沼成文、菅原 保、住徳松子、笠島 茂、中川秀昭、野見山哲生、原田規章、堀江正知、宮本俊明、村田勝敬、柳澤裕之、山田誠二、吉田貴彦（以上理事）
實成文彦、藤田雄三（監事）

欠席者：諏訪園靖

オブザーバ：大神 明

川上総務担当理事より、谷川武理事が所属地方会の変更により、役員を選任に関する細則第 6 条第 2 項に基づいて、平成 26 年 3 月 31 日付けで退任したことが報告された。

現理事 29 名のうち、出席者 28 名であることから、定款第 38 条により、理事会が成立していることを確認した。

審議事項

- 平成 25 年度第 4 回理事会議事録の確認：川上総務担当理事承認された。
- 役員の役割分担について：圓藤理事長
倫理審査委員会と利益相反に関する委員会の担当は、兼務でない方がよいとされ、利益相反に関する委員会の委員が、住徳理事から五十嵐理事に変更された。
- 平成 26 年度の総会開催について：川上総務担当理事
平成 26 年度の総会開催の日時、場所、議案、進行方法等を決定した。
- 平成 25 年度事業報告案について：川上総務担当理事
平成 25 年度の実業報告案が提示され説明された。一部修正をすることとし、承認された。また、平成 26 年 4 月 5 日に監事による監査が行われ適正であったとの報告を受けたことが報告された。
- 平成 25 年度決算報告案について：角田経理担当理事
会計計算書類をもとに説明され、質疑応答の上、承認された。また、会計についても監事による監査が完了していることが報告された。
- 委員会新委員の委嘱について：川上総務担当理事
編集委員会と、許容濃度等に関する委員会の新期委員について各担当理事より説明があり、承認された。
- 産業保健看護専門制度準備委員会について：五十嵐理事
産業保健看護専門家（保健師・看護師）の制度設計と、制度の組織構成、平成 26 年度収支見込み、移行手続きについて説明があった。委員会が発足した場合、産業看護部会との役割と会計は分けて運営する予定。制度の基本的な枠組みに

ついては承認された。

移行後の収支見込みについて、提出するよう求められた。

8. 新研究会の設置について：五味理事

海外勤務健康管理研究会の申請を受けて審議した。海外勤務者とその家族の健康管理に関わる問題を幅広く産業医学の視点から研究し、その成果を企業や社会に還元する趣旨や活動内容を確認し、設立を承認した。

なお、既存の研究会の更新手続きを進めることにした。

9. 禁煙学術ネットワークの要望書について：川上総務担当理事
禁煙学術ネットワークから提案のあった「2020 年東京オリンピック成功に向けて、東京都受動喫煙防止条例制定の要望書（案）」について参加の可否を検討した。一部の表現に修正を依頼し、修正された場合に参加することにした。

10. 次回理事会日程について：川上総務担当理事

今回は平成 26 年 7 月 5 日（土）、次々回は平成 26 年 10 月 11 日（土）の予定。

11. その他：

①選挙制度について：大久保理事

各地方会で行われている選挙について、ある程度の枠組みを規則として定められないかを中央選挙管理委員会で検討してもらうこととした。

車谷理事より、近畿地方会では電子投票システムを用いることを検討しており、このシステムの利用に支障がないか質問があった。既に利用している地方会や、マニュアルがあること、いくつかの機能に改良点があることが説明され、現時点でのシステムでも使用可能との結論となった。なお、利用については各地方会の判断に任せられる。

報告事項

- 第 86 回日本産業衛生学会会計報告：菅沼理事
最終報告がなされた。決算は黒字となった。
- 第 87 回日本産業衛生学会準備状況報告：萩野理事
事前登録状況や講演内容などが述べられ、順調に進行中であることが伝えられた。
- 第 88 回日本産業衛生学会準備状況報告：車谷理事
ポスターが紹介され、基本コンセプト、学会概要などについて順調に企画検討されていることが報告された。
会期：平成 27 年 5 月 13 日（水）～16 日（土）メインテーマは「Quality of Working Life」
- 第 23 回産業医・産業看護全国協議会会計報告：齊藤理事
最終の収支報告がなされ、決算は黒字となった。
- 第 24 回産業医・産業看護全国協議会準備状況報告：中川理事
特別講演、基調講演、メインシンポジウム等の企画案について報告された。
- 第 25 回産業医・産業看護全国協議会準備状況報告：原田理事
会期（平成 27 年 9 月 16 日～19 日）、開催都市（山口県周南市）、準備は順調に進んでいることが報告された。

7. 第 21 回アジア労働衛生会議 (ACOH2014) 準備状況報告：東副理事長
ACOH 2014 (平成 26 年 9 月 2 日～4 日) について、事務局大神明氏 (準備状況報告のため参加) より準備状況、収支の報告があった。メインのシンポジウム 7, 特別講演 5, 基調講演 3 と、ポスター発表を広く受け付けていることが紹介された。ACOH2014 の周知と、参加の呼びかけがあった。
本学会が主催となっている重要な事業であるため、今後のプログラム、パンフレット等には主催者名を記載するようにとの指摘があった。
8. 産業医部会報告：斉藤理事
地方部会を活性化するために、医部会本部より助成金を支給することが決定したと報告された。
9. 産業看護部会報告：総務担当理事：住徳理事
部会員数、事業報告、事業計画等が説明された。パスワードで閲覧可能な部会員専用サイトを活用して、新制度など部会員に有用な情報を発信していくと述べられた。
10. 産業衛生技術部会報告：柴田理事
第 24 回産業医・産業看護全国協議会と同時開催の第 23 回産業技術部会大会の開催計画と、第 87 回日本産業衛生学会時の部会関係行事について報告された。
11. 産業歯科保健部会報告：加藤理事
事業計画として、第 87 回日本産業衛生学会のシンポジウムとフォーラム、第 24 回産業医・産業看護全国協議会のシンポジウムについて報告された。
12. 専門医制度委員会報告：大久保理事
登録者数 (指導医 347 名 専門医 224 名 専攻医 117 名) と、26 年度の専門医制度試験の日程などについて報告された。
東副理事長より、社団法人日本専門医制評価・認定機構が解散し、一般社団法人日本専門医機構が発足したことが報告された。当学会の専門医制度の位置付けについて要望を伝えることが述べられた。
13. 利益相反に関する委員会報告：東副理事長、柴田理事
第 1 回の委員会が開催されたことが報告された。当学会の利益相反開示の厳格な基準を定めていく。また、現在策定中の社会医学系 4 学会の共通の利益相反ポリシー (案) についての進捗状況が報告され、さまざまな意見を寄せるよう呼びかけられた。
14. 編集委員会報告：野見山理事
2013 年優秀論文賞 4 件の決定が報告された。
平成 26 年度、堤明純委員長と柴田英治副委員長の下、新委員を含む 39 名、海外編集委員 25 名の新体制で始動したことが報告された。オンラインジャーナル化への検討を進めていることが報告された。
優秀論文賞の妥当な数について編集委員会で検討してはどうかという意見があった。
15. 生涯教育委員会報告：宮本理事
投稿された 10 題の中からベスト GP 賞 1 題、GP 奨励賞 2 題が決定したことが報告された。
16. 中央選挙管理委員会報告：柳澤理事
中央選挙管理委員会次期委員 (再任 2 名、地方会推薦の新任 4 名) と、委員長が報告された。
17. 担当理事報告：各担当
・許容濃度委員会より：大前理事
ホームページへの掲載が承認された許容濃度提案理由について 2001 年以降分を掲載することが報告された。2000 年以前については個別対応する。
・IT 担当理事報告：大久保理事
本年度電子投票の導入を検討している近畿地方会とは、連絡をとって準備を進めていること、関東地方会からの機能改善の要望を受け、投票結果の開示に際しての機能追加を検討していることが報告された。
各地方会での電子投票の導入検討の際には、相談するよう呼びかけられた。
18. 公的委員会等情報報告：各担当
・職場の風疹対策ガイドライン作成委員会について：斉藤理事
厚生労働省の協力依頼を受けて作成に協力してきた職場における風疹対策のガイドラインが完成したと報告された。第 87 回日本産業衛生学会会場でも配布する予定である。
・労働安全衛生法改正案について：川上理事
成立の見込みであることが伝えられた。
・日本循環器学会「ペースメーカー・ICD・CRT を受けた患者の社会復帰・就学・就労に関するガイドライン」改訂について：堀江理事
改訂作業が完了したことと、当学会に関係する改定は特にないということが報告された。
・ICOH 2015 (ソウル) について：堀江理事
平成 27 年 5 月 31 日～6 月 5 日開催の ICOH 2015 への積極的な参加が呼びかけられた。
19. 学会名簿使用許可報告：川上総務担当理事
産業看護部会の部会員名簿の使用許可 1 件、専門医と産業看護部会、登録看護師の名簿使用許可の申請 1 件の申請があり、許可したことが報告された。
五十嵐理事より、産業看護部会や登録産業看護師の名簿使用許可申請が増え、懸案事項もあるため、今後は部会として一定のルール化を図っていくことが報告された。
20. 会員の状況：川上総務担当理事
正会員数：7,453 人 (平成 26 年 4 月 1 日現在)
21. 協賛・後援等：川上総務担当理事
以下の 4 件が報告された。
・第 41 回日本毒性学会学術年会 (後援)
・第 20 回第 1 種 ME 技術実力検定試験および講習会 (協賛)
・第 31 回エアロゾル科学・技術研究討論会 (共催)
・健康開発科学研究会主催「2014 フォーラム」(後援)
22. その他：川上総務担当理事
・全国公衆衛生関連学会連絡協議会について：圓藤理事長
ホームページの開設や、規約の一部を変更する予定が伝えられた。

- ・日本医学会連合の設立時社員の登録：川上総務担当理事
一般社団法人日本医学会連合が平成 26 年 4 月 1 日付け
で設立され、当学会が設立時の社員となったことが報告さ
れた。
- ・中央労働災害防止協会からの緑十字賞、顕功賞の推薦依頼
について：川上総務担当理事
学会から緑十字賞に 1 名、顕功賞に 2 名を推薦すること
となった。

平成 26 年度総会議事録

日 時：平成 26 年 5 月 22 日（水）9：00～11：00

場 所：岡山コンベンションセンター 第一会場 コンベン
ションホール

議 長：荻野景規

副議長：原田規章

1. 開会
川上憲人総務担当理事の司会で開会した。
2. 第 87 回日本産業衛生学会企画運営委員長挨拶
荻野景規第 87 回日本産業衛生学会企画運営委員長から挨拶がなされた。
3. 物故会員報告
平成 25 年 5 月から平成 26 年 5 月までの物故会員として、
菊池 章、有賀 徹（名誉会員）、石川恵子、西村真理子、
新田一昭、山口 裕、大滝秀穂、正村寿海、長沼 毅、植
松 稔（名誉会員）、梶山清子、阪本州弘、細迫有昌、以上
13 名の会員の方々のご逝去されたと報告され、ご冥福を祈
り黙祷を捧げた。
4. 理事長挨拶
圓藤吟史理事長から挨拶がなされた。
5. 議長選出
川上憲人総務担当理事より、議長として荻野景規企画運営
委員長が推薦され、承認された。荻野景規議長より、副議長
として原田規章氏（山口大学）が推薦され、承認された。
6. 議事録署名人選出
議事録署名人を議長が指名することが承認され、荻野景規
議長により、福岡悦子（山陽学園大学）、田口豊郁氏（川崎
医療福祉大学）が指名された。
7. 総会の成立
川上憲人総務担当理事より、代議員総数 638 名へ封書を用
いて開催の通知を行い、577 名（79.74%）から回答を受けた
こと、うち総会出席者は 146 名、指名のある委任状提出者は
350 名、合計すると 496 名で代議員の過半数を超えており、
定款第 21 条により総会が成立していると報告された。これ
により総会が成立していることが確認された。

審議事項

第 1 号議案 平成 25 年度決算報告案

角田透経理担当理事より、平成 25 年度事業報告について、
資料をもとに説明がなされた。

続いて實成文彦監事より監査報告がなされた。實成文彦監
事、藤田雄三監事の両名が、杉本賢司公認会計士立会いのも
とに監査を行ったこと、その結果、収支決算は適正であり、
理事の職務執行も適正かつ効率的であると認められたことが
報告された。

質問・異議はなく、第 1 号議案は可決された。

第 2 号議案 名誉会員の推薦

川上憲人総務担当理事より、名誉会員として池田正之先生
（一般財団法人京都工場保健会、近畿地方会）と竹内康浩先
生（愛知県在住、東海地方会）を推薦するとの説明があった。

学会賞：河合俊夫先生

奨励賞：島津明人先生、中野真規子先生

功労賞：友国勝磨先生、中明賢二先生

質問・異議はなく、第 2 号議案は可決された。

報告事項

1. 機関誌の発行

堤 明純編集委員長より、産業衛生学雑誌 55 巻 1～6 号の
刊行は順調で計 18 編が掲載された。Journal of Occupational
Health (JOH) Vol. 55 No. 1～6 の刊行も順調で、計 61
編（第 1 著者：国内 23 編、国外 38 編）が掲載された。そ
の他、日本学術振興会科学研究費補助金として平成 25 年度
は 490 万円の交付を受けたこと、JOH のインパクトファク
ター（2012）は 1.634 であったこと、第 86 回日本産業衛生
学会（松山）で、「編集長と話そう」の企画を実施したこと、
剽窃検知サービス（CrossCheck）の利用が始まったこと、
ScholarOne の仕様変更を行い、査読辞退理由ないし査読遅
延の状況を確認できるようにしたこと、日本産業衛生学会
が公益社団法人へ変更になったことに伴い、発行誌への広告
掲載覚書を作成したこと、平成 25 年度産業衛生学雑誌優秀
論文賞候補を選考したこと、査読者表彰制度を創設し貢献度
の高い査読者候補を選考したこと等が報告された。

2. 平成 25 年度事業報告

川上憲人総務担当理事より、平成 25 年度の事業について
資料を基に概要の説明がなされた。

また、柳澤裕之前中央選挙管理委員長より、谷川武理事
（四国地方会選出）が所属地方会の変更により、平成 26 年 3
月 31 日付けで退任したことが報告された。

3. 平成 26 年度事業計画

川上憲人総務担当理事より、平成 26 年度の事業計画につ
いて資料を基に概要の説明がなされた。

4. 平成 26 年度予算

角田透経理担当理事より、平成 26 年度予算について収支
予算書を基に報告された。

5. 第 88 回日本産業衛生学会開催準備状況

車谷典男企画運営委員長より、第 88 回日本産業衛生学会
は平成 27 年 5 月 13 日（水）～16 日（土）にグランフロント
大阪にて開催する予定である。メインテーマ「Quality of
Working Life」として開催するとの説明と挨拶があった。

6. 第 89 回日本産業衛生学会開催地について

川上憲人総務担当理事より、平成 28 年度に開催される第

89 回日本産業衛生学会開催地について、東北地方会が担当となることが理事会では承認されていることが報告された。

7. 第 24 回産業医・産業看護全国協議会開催準備状況

中川秀昭企画運営委員長より、平成 26 年 9 月 24 日～27 日（特別研修会 28 日）に金沢市文化ホール、石川県文教会館にて開催する予定である。メインテーマは「産業衛生をすべての人々と職場に」として開催するとの説明と挨拶があった。

8. 第 25 回産業医・産業看護全国協議会開催地について

川上憲人総務担当理事より、平成 27 年度に開催される第 25 回産業医・産業看護全国協議会について、中国地方会が担当となることが理事会では承認されていることが報告された。

9. 第 23 回産業衛生技術部会大会準備状況

加藤隆康産業衛生技術部会長より、第 23 回産業衛生技術部会大会は平成 26 年 9 月 25 日に第 24 回産業医・産業看護全国協議会と金沢市にて合同開催をするとの説明があった。

10. 許容濃度等に関する提案

矢野栄二許容濃度等に関する委員会前委員長より、平成 25 年度に許容濃度等に関する委員会が 4 回開催され、第 86 回日本産業衛生学会総会（松山）において、許容濃度等の新設・改訂、および継続審議中の項目について説明がなされた。

11. その他

- ・川上憲人総務担当理事より、以下の受賞報告があった。
編集委員会による産業衛生学会誌優秀論文賞：奥野 勉先生、塩崎万起先生、辻 雅善先生、森 晃爾先生
生涯教育委員会によるベスト GP 賞：中家隆博先生、GP 奨励賞：高橋明子先生、三浦 隆先生
 - ・堀江正知理事より、ICOH2015 は 2015 年 5 月 31 日～6 月 5 日に韓国にて開催するので、多数のご参加をお願いしたいとの挨拶があった。
 - ・原谷隆史代議員（関東地方会）より、役員選挙における電子投票システムの不備と、地方会における選挙方法の問題点についての指摘があった。これに対し総務担当理事より、中央選挙管理委員会による検討を依頼したいとの回答があった。また矢野栄二代議員（関東地方会）より、この問題については監事による検証と報告を希望するとの発言があった。理事長より事実確認のうえ報告したいとの発言があった。
- この他に、提案はなく、閉会となった。

平成 25 年度第 5 回専門医制度委員会議事録

場 所：近江町交流プラザ 4F まなびい広場研修室 2
金沢市青草町

日 時：平成 26 年 2 月 1 日（土） 15:00～17:00

*出席：山田（裕一）、東 敏昭、大久保靖司、宮川路子、
吉田貴彦、車谷典男、大神 明（事務局）

*欠席（委任状あり）：岡田邦夫、彌富美奈子、石竹達也（オブザーバー：専攻医試験部会長）

*オブザーバー：森 晃爾（事務局員）、大久保利晃（顧問）

1. 議 事

I. 報告事項

1 専門医・指導医・研修医登録状況について

事務局より 1 月 31 日現在の認定状況について、指導医名簿登録者 320 名、専門医名簿登録者 224 名、専攻医名簿登録者 116 名、研修登録医 281 名（内専攻医登録者 116 名を含む）との報告があった。

2 研修施設および研修協力施設の認定状況について

事務局より 1 月 31 日現在の認定状況について、研修施設（サービス施設型 89 施設、教育情報提供型 31 施設）、研修協力施設 12 施設との報告があった。

3 日本専門医評価・認定機構加盟学会意見交換会報告

理事長の代理で専門医制度委員会を代表して参加した森オブザーバーより報告があった。

II. 審議事項

1. 指導医・専門医資格申請および更新について

(1) 「経過措置による指導医」第 2 期第 4 回目更新

資格更新対象者 1 名について保留、1 名認定

(2) 「専門医から指導医」第 1 期指導医更新

申請のあった 10 名について審議し、10 名全員指導医認定された。

(3) 「専門医から指導医」第 18 期申請・第 19 期申請

申請のあった 23 名について審議し、全員認定された。

19 期申請 1 名について特別措置指導医として更新するが、1 年後には専門医資格取得後 5 年となるので、正規の指導医に自動的に移行することとした。（有効期間は特別指導医期間を含め 5 年間）

(4) 「特別措置による指導医」申請

1 名について審議し、要件を満たしており認定された。

新規の指導医について施設認定もあわせて案内する。

2. 日本専門医評価・認定機構加盟学会意見交換会報告に関する日本産業衛生学会専門医制度委員会としての意見集約について

専門委制度委員会として意見を集約し理事会に答申することとした。

3. その他

1) 産業医専攻医試験の際に産業医部会の申込用紙を置く件

了承された。ただし、学会加入が部会加入の条件である旨の注意書きをそえることとした。

2) 名簿使用許可願い可否の手続きに関する件

委員長決裁にて承認することで了承された。

3) 次回専門医制度委員会は平成 26 年 5 月の岡山にて開催。

平成 26 年度第 1 回専門医制度委員会議事録

日 時：5 月 22 日（木） 13：00-14：00

場 所：岡山コンベンションセンター 4 階 401 会議室
岡山市北区駅元町 14-1

- *出席：山田裕一，東 敏昭，大久保靖司，宮川路子，
吉田貴彦，岡田邦夫，彌富美奈子，大神 明（事務局）
- *欠席：車谷典男（委任状あり），石竹達也（オブザーバー：
専攻医試験部会長）
- *オブザーバー：森 晃爾（事務局員），山田誠二（顧問），
大久保利晃（顧問）

【専門医制度委員会】議 題

I. 報告事項

- 1 専門医制度現状報告・平成 25 年度事業報告・平成 26 年度事業計画
事務局より専門医制度現状報告・平成 25 年度事業報告・平成 26 年度事業計画について報告があった。
- 2 理事会報告
大久保靖司委員より，当専門医制度を参考とした産業看護専門制度が進められているとの報告があった。
- 3 研修施設および研修協力施設の認定について
事務局より，研修施設（教育情報型）2 件，研修協力施設 1 件が承認されたことが報告された。
- 4 第 6 回専攻医資格認定試験受験申請者の状況
事務局より，5 月 24 日に実施予定の専攻医資格認定試験について 29 名の申し込みがあったが，2 名が受験日変更申請したため，27 名が受験予定であることが報告された。
- 5 日本専門医制評価・認定機構の動向
大久保靖司委員より，新しい機構への変更についての状況報告があった。

II. 審議事項

- 1 指導医登録更新の可否について
委員による審議の結果，申請者 12 名全員が更新認定された。
- 2 指導医登録申請の可否について
委員による審議の結果，申請者 2 名全員が指導医認定された。
- 3 平成 26 年度第 22 回専門医資格認定試験実施について
受験申請について，ホームページ上では 5 月末日までの締切となっているが，受験者数が現在までに少ないため，6 月 20 日締切に延長する。あわせてその変更をホームページ上で告知する。
- 4 その他
 - (1) 専攻医研修手帳取得までの猶予期間について
専攻医試験合格後の登録（手帳取得）原則は半年以内であることを確認した。
 - (2) 専門医制度委員会ホームページ更新等の管理について
管理費用を年間 4 万円委託費にて支出することと

した。

(3) 次回委員会開催日について

7 月 6 日午前 10 時より東京八重洲ホールで開催。

平成 26 年度第 2 回専門医制度委員会議事録

日 時：7 月 6 日（日） 10：00-12：00

場 所：東京八重洲ホール会議室

- *出席：山田裕一，東 敏昭，車谷典男，大久保靖司，
宮川路子，吉田貴彦，岡田邦夫，大神 明（事務局）
- *欠席：大久保利晃（顧問）
- *オブザーバー：森 晃爾（事務局員），山田誠二（顧問），
彌富美奈子，石竹達也（専攻医試験部会長）

【専門医制度委員会】議 題

I. 報告事項

- 1 専門医制度現状報告・平成 25 年度決算報告
事務局より専門医制度現状報告・平成 25 年度決算報告について報告があった。
- 2 理事会報告
大久保靖司委員より報告があり，主に専門医制度機構との関係について話をを行ったとの報告があった。
- 3 研修施設および研修協力施設の認定について
事務局より，研修施設（教育情報型）2 件，研修協力施設 1 件が承認されたことが報告された。
- 4 平成 26 年度第 22 回専門医資格認定試験方法について
事務局より，本年度試験はオンワード総合研究所（横浜市）で 8 月 23 日 /24 日の 2 日間で行われること，受験申請者は 20 名，班分けは 5 名ずつ 4 班に分かれること，試験時間割や試験方法は昨年に準ずること，等の案が報告された。

II. 審議事項

- 1 指導医登録更新の可否について
委員による審議の結果，申請者 5 名全員が更新認定された。
- 2 指導医登録申請の可否について
委員による審議の結果，申請者 2 名中 1 名が指導医認定された。
- 3 平成 26 年度第 22 回専門医試験資格認定について
20 名の応募者の受験資格を審査し，全員受験資格ありと認定した。
- 4 平成 26 年度第 22 回専門医試験実施細目及び実施体制について
試験におけるグループ分け，および試験官担当割りについて決定された。
- 5 第 7 回専攻医資格認定試験について
第 7 回専攻医資格認定試験は平成 26 年 8 月 2 日（土），産業医科大学にて開催されることが承認された。
- 6 その他
 - (1) 専門医広告用のポスター制作について
事務局で新たに制作することとなった。

- (2) 専門医から指導医申請者の有効期限の発行日について
専門委制度委員会での審査の日付をもって発行日とすることが確認された。
- (3) 日本医学教育学会との共同企画について
大久保委員と事務局大神が担当窓口となって対応することが承認された。
- (4) 次回の日本産業衛生学会での公募シンポジウムについて
「社会医学・予防医学における専門医教育の課題と展望」というテーマでシンポジウムが採択された。内容については、産業保健をより意識した内容で訂正することになった。
- (5) 次回委員会開催日について
8月24日午後15時45分よりオンワード総合研究所（専門医試験会場）で開催。

第42回 産業中毒・生物学的モニタリング研究会（第2報）

会 期：2014年10月25日（土）13：45～18：00（受付開始13：15）
26日（日）9：00～12：00

会 場：松本市中央公民館（Mウイング）会議室3-2（3階）
（松本市中央1丁目18-1）

内 容：

10月25日

- 1) 特別報告 14：00～15：00
有機溶剤、重金属のばく露評価としての生物学的モニタリング
企業の特健康診断から
パナソニック健康保健組合 産業衛生科学センター 坂本史彦
- 2) 一般演題 15：15～18：00（予定）
- 3) 自由交流会（兼 懇親会）18：15～20：00

10月26日

- 1) 一般演題 9：00～10：00
- 2) 特別報告演 10：15～12：00
1,2-ジクロロプロパンの発がん性—IARC会議での議論から
 - ① 疫学研究から 10：15～11：00
産業医科大学 熊谷信二
 - ② 発症機序から 11：00～11：45
東京理科大学 市原 学

参加費：2,000円

懇親会：25日18：15から近隣のレストランで行います。会費は4,000円です。

参加・演題申込み、問い合わせ先：

信州大学医学部衛生学公衆衛生学講座 塚原照臣
電話 0263-37-2622 FAX 0263-37-3499
E-mail prev_med@shinshu-u.ac.jp

世話人：野見山哲生（信州大学医学部衛生学公衆衛生学）

一般演題募集：

演題締切：2014年9月19日（金）
抄録締切：2014年10月13日（月）
抄録様式：下記HPより様式（wordファイル）をダウンロードし、必要事項を記入の上、
メール（prev_med@shinshu-u.ac.jp）でお送り下さい。

第42回研究会HP：

http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/chair/pmph/yuuki_conference42.html
今後情報は研究会HPにアップデートしていきます。

第 22 回日本産業ストレス学会

開催概要

会 期：2014 年 11 月 28 日（金），29 日（土）
 会 場：大阪国際交流センター
 〒 543-0001 大阪市天王寺区上本町 8-2-6 Tel: 06-6773-8182
 会 長：廣部一彦（みずほフィナンシャルグループ 関西統括産業医）
 藤本 修（おおさかメンタルヘルスケア研究所 代表理事／院長）
 メインテーマ「労働と健康の調和をめざして～高ストレス社会とどう向きあうのか～」
 大会ホームページ：http://plaza.umin.ac.jp/~sangyo-stress22/

■プログラム

[特別講演] 「グローバル経済と国民国家」 講師：内田 樹（神戸女学院大学名誉教授／凱風館館長）
 [特別企画 (1)] 講演と事例検討「働く人のアスペルガー症候群への対応」
 講師：竹田契一（大阪医科大学 LD センター顧問） 事例検討：夏目 誠，竹田契一
 [特別企画 (2)] 労働安全衛生法改正について 元厚生労働省労働基準局 安全衛生部長 半田有通
 [教育講演 (1)] 「新型うつ等の対応困難例の支援～労務管理と連携した職場復帰支援を中心に～」
 講師：北村尚人（帝京平成大学大学院 臨床心理学研究科教授）
 [教育講演 (2)] 「職場のストレス調査と心理社会的要因のリスクアセスメント制度の現状と展望」
 講師：川上憲人（東京大学医学系研究科 精神保健学分野教授）
 [教育講演 (3)] 「ストレス・疲労の科学と健康イノベーション」
 講師：倉恒弘彦（学校法人玉手山学園 関西福祉科学大学教授）
 [教育講演 (4)] 「職場メンタルヘルスにおける認知行動療法的アプローチ」
 講師：大野 裕（独）国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター所長）
 [教育講演 (5)] 「メンタルヘルス不調に関する法的諸問題：最近の労災認定判例を中心に」
 講師：高木道久（栄パーク総合法律事務所所長（弁護士））
 [シンポジウム (1)] 「職場復帰支援の現状と問題点～リワークの活用と事業所内外の連携～」
 [シンポジウム (2)] (コントラバシー) 「若者のメンタルヘルス不調はなぜ減らない
 ～問題点から見える解決への糸口～」
 [シンポジウム (3)] 「働く若者のストレスをどのように支援するか」
 [基調講演]，[一般演題]，[ランチョン] ほか
 ※日本医師会認定産業医制度研修単位，日本産業衛生学会産業看護職継続教育システム実力アップコース 申請中

一般演題募集期間：2014 年 6 月 10 日（火）～9 月 10 日（水）

事前参加登録振込締切日 11 月 7 日（金）

「上記ホームページよりお申し込みください。」

学会参加費（懇親会費）

学会員 6,000 円（事前 5,000 円） 非学会員 8,000 円（事前 6,000 円）

懇親会 6,000 円（事前 5,000 円） 学生 3,000 円（事前 2,000 円）

事務局：第 22 回日本産業ストレス学会事務局 学会事務局長：木曾真一

みずほフィナンシャルグループ 大阪健康開発センター 〒 541-0042 大阪市中央区今橋 4-2-1

運営事務局（問い合わせ先）：(株)アカデミック・ブレインズ

〒 540-0033 大阪市中央区石町 1-1-1 天満橋千代田ビル 2 号館 9 階

TEL：06-6949-8137, FAX：06-6949-8138, E-mail：sangyo-stress22@academicbrains.jp

日本産業ストレス学会研修会

■テーマ：すぐに使える，実践できる，職場のメンタルヘルス問題の知識とツール

■日 時：平成 26 年 11 月 30 日（日）10：00～16：10

■場 所：大阪国際交流センター（大阪市天王寺区上本町 8-2-6）

■研修プログラム

- ・職場復帰における産業医の役割と法的諸問題への対応
- ・新型うつ（病）への職場での対応～リワーク事業の紹介も含めて～
- ・ストレスチェック 安衛法の改正に伴うメンタル健診義務化の動向と対策
- ・事例検討 職場の受入や対応について～発達障がい等を持つケース～

※日本医師会認定産業医制度（生涯研修 実地，更新，専門すべての単位，計 5 単位を申請中）

ただし，新規取得の際の基礎研修は対象外ですのでご注意ください

※日本産業衛生学会産業看護職継続教育システム実力アップコース（4 単位を申請中）

- 申込方法**：申込書を事務局宛に FAX または Email で送付後、参加費をお振込みください。
(申込書は日本産業ストレス学会 HP よりダウンロードできます)
- 申込受付**：平成 26 年 8 月 1 日 (金)～平成 26 年 11 月 14 日 (金)
(定員になり次第、締切させていただきます)
- 申込・問合せ先**：日本産業ストレス学会事務局
〒 541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町 3-3-9 おおさかメンタルヘルスケア研究所内
TEL 06-6251-1929 FAX 06-6251-0930
E-mail sangyo-stress@omci-clinic.com URL : <http://jajsr.umin.ac.jp/>

平成 25 年度新入会者

[埼玉] 奥本真理子 [福岡] 松本茜子

平成 26 年度新入会者

[北海道] 市村美紀, 国京良江, 小島 悟, 小林澄貴, 菅原由記子, 杉岡良彦, 鈴木志穂 (学生会員), 峯岸高裕 [宮城] 大河内真也 [秋田] 鈴木康子 [茨城] 香田泰子 [群馬] 雨澤真木子 [埼玉] 穴田敬雪, 大場留奈 (学生会員), 志村哲祥, 武井順子, 田上恵美子, 寺田昌江, 宮嶋由佳 [千葉] 立川茉以子, 松永幸治 [東京] 五十嵐順子, 池田美穂, 石田 梓, 薄井久美子, 大場友美子, 尾矢征子, 川村幸恵, 菊池恵美, 菊野温子, 小林泰江, 齊藤由美, 島田 恵, 神宮司幸恵, 高野聖子, 竹内志保子, 永峰英子, 中山真由子 (学生会員), 二階堂里絵, 原田リエ, 福井雄二, 南亜依子, 矢吹みどり, 山田順子, 吉田麻美, 渡邊美歌, 渡邊美香 [神奈川] 荒川知佳, 栗野真樹, 木場麻夕, 篠原路子, 渋谷真由美, 清水勇樹, 高清水幸美, 田山織江, 中村治世, 長谷川梢, 藤井 悠 [富山] 崔 正国 [石川] 中川真人 [長野] 内田麻里奈 [静岡] 齊藤 誠, 澤村かおる, 高橋真寿美, 舟津 碧 [愛知] 稲垣則子, 植野千鶴子, 奥村健二, 加治木由喜子, 嶋村美喜, 永島めぐみ, 長屋美代子, 山崎琴恵 [三重] 大野秀和, 河田由紀子, 田島和雄, 山田知佳, 吉田祐子 [滋賀] 山田宗順 [京都] 宮川昌也 [大阪] 足立孝好, 内賀嶋仁美, 岡崎悠乃, 栗田恵美, 栗原敏修, 杉野美喜, 関田佳子, 谷底弥生, 樋口麻美, 益田元子, 山崎あかね [兵庫] 太田涼子 [鳥取] 徳永美紀 [広島] 植永章子, 川上未央, 福光誉子 [山口] 石井健二, 前田佳子 [徳島] 豊崎 纏, 中瀬勝則 [香川] 横山勝教 (学生会員) [愛媛] 亀井治人 [福岡] 青木真美子 [佐賀] 高木佑介, 松元千秋 [熊本] 渡邊美有記

第 6 回ベスト GP 賞公募のお知らせ

日本産業衛生学会生涯教育委員会

生涯教育委員会では、産業保健専門職の生涯教育のために良好実践事例 (GPS: good practice samples) の投稿を会員から広く募集し、専用の HP にアップロードしています。平成 21 年には「ベスト GP 賞」を創設し、生涯教育の教材として優れた GPS を生涯教育委員会で選考のうえ、第 1 回から第 5 回まで学会総会 (福井, 東京, 名古屋, 松山, 岡山) において、投稿者に理事長から表彰状が授与されています。今年度も第 6 回ベスト GP 賞の候補 GPS を募集いたします。2014 年 1 月 10 日 (金) 午後から 2015 年 1 月 9 日 (金) の正午までに投稿された GPS を対象にベスト GP 賞および GP 奨励賞を決定し、第 88 回日本産業衛生学会で表彰いたします。学会員の皆様は奮ってご投稿ください。投稿方法などの詳細は専用ホームページ <http://gps.sanei.or.jp/> をご覧ください (学会のホームページの「情報検索」内にもリンクが掲載されています)。

第 19 回 産業医プロフェッショナルコース開催のお知らせ

主催 日本産業衛生学会 産業医部会
後援 財団法人労働衛生会館

企画運営委員長 浜口伝博
実行委員長 大里 厚

本コースは、産業医の実務に役に立つタイムリーな話題の提供を通して実践的な産業医技能の獲得を目指す研修プログラムです。受講者からは高い評価をいただいております。参加された受講者間のネットワークも広がっています。参加は、専属産業医、嘱託産業医を問いません。意欲のある先生方のご参加をお待ちしています。

1. 研修テーマ：今こそ知りたい！これからの職場リスクアセスメント

～ストレスチェックと職場巡視～

2. 開催日：2015年2月14日（土）～2月15日（日）

3. 会場：MELONDIA あざみ野（あざみ野駅徒歩5分）

〒225-0003 神奈川県横浜市青葉区新石川1-1-9

Tel：045-909-1790 Fax：045-909-1789

https://www.yutulife.com/user/mrs/azamino_dm0912/map.html

あざみ野駅（横浜市営地下鉄）、あざみ野駅（東急田園都市線）

羽田空港より隣駅「たまプラーザ（田園都市線）」駅までの直行バスもあります。

4. 内容

－1日目－

1) ストレスチェックの背景と経緯 13：00-14：00

講師：堀江正知（産業医大）

2) 職場ストレスマネジメントの世界の動向 14：00-15：00

講師：堤 明純（北里大）

3) 実際どうする？ ストレスチェック 15：20-18：20

（パネルディスカッションおよびグループワーク）

司会進行：塚原照臣（信州大）、吉川 徹（労働科研）

◇ 産業医としてこう使う（専属産業医の立場から）

中谷 敦（株）日立製作所

◇ 産業医としてこう使う（統括産業医の立場から）

梶木繁之（株）コマツ

◇ 産業医としてこう使う（嘱託産業医の立場から）

東川麻子（株）OH コンシェルジュ

◇ 産業医としてこう使う（健診機関の立場から）

森口次郎（一財）京都工場保健会

情報交流会（懇親会） 18：30-20：30

－2日目－

4) 職場巡視力を上げる 9：00-12：00

講師：中谷 敦（株）日立製作所

5. 募集人数：50名

6. 受講料：日本産業衛生学会産業医部会員 20,000円（2日間コース）

日本産業衛生学会会員（医師） 25,000円（2日間コース）

7. 受講修了者には修了証を産業医部会長名にて発行致します。

8. 申込方法等：次ページ「参加申込書」を作成しFAXしてください。

1) 資格：産業医部会員の有無 を選択してください。

2) 連絡先を記載：氏名、住所（参加確定後に書類等の送付先になります）、電話番号／FAX／メールアドレス（すべてご記入下さい。以降の事務連絡先となります）

3) 宿泊：研修会場にて宿泊をすることが出来ます（個数限定のため先着受付となります）。

シングル：¥10,000（税込、朝食付き、全室禁煙）。ご希望の方は「宿泊希望」をご記入下さい。

4) 情報交流会（懇親会）：初日プログラム終了後、パーティ形式の懇親会を行います。担当講師、運営スタッフも参加しますので議論や懇親を深めることができます。参加ご希望の有無をご記載下さい。参加費用は ¥4,000（コース受講料とは別）。

5) 申し込み先事務局：FAXでお申し込み下さい。

「(株)ヒューマン・リサーチ内 産業医プロフェッショナルコース事務局」

FAX 03-3358-4002 〒160-0011 東京都新宿区若葉2-5-16 向井ビル3F

(株)ヒューマン・リサーチ TEL 03-3358-4001

9. 応募の開始と締切

・応募開始（先着順受付とさせていただきますのでご了承ください）

産業医部会員 2014年10月31日（金）9：00から

非部会員（医師かつ学会員が必要）2014年11月7日（金）9：00から

- ・応募締切（部会員／非部会員を問わず） 2014年11月21日（金）17：00まで
 ア）応募締切後，参加決定者には事務局より受講料振込み等の必要書類を郵送致します。
 イ）お振込みいただく金額は，受講料，情報交換会費（希望者），宿泊費（希望者）となります。
 ウ）2014年11月28日（金）を過ぎても事務局から連絡がない場合は，事務局までお問い合わせ下さい。

10. 補足

- 1) 産業医プロフェッショナルコースは「産業衛生学会専門医制度委員会」と連携しています。本コースは専門医研修中の先生方に対する教育コースに認定されておりますので，受講実績は研修単位（専門医の場合は指導医への認定単位）として認可されます。
 2) 産業医プロフェッショナルコースは，日本医師会認定産業医単位の発行はしていませんのでご注意ください。

----- (切り取り) -----

日本産業衛生学会
 産業医 P コース事務局行
 (FAX : 03-3358-4002)

申込日 _____ 月 _____ 日

日本産業衛生学会 産業医部会
 産業医プロフェッショナルコース参加申込書

コース名	今こそ知りたい！これからの職場リスクアセスメント ～ストレスチェックと職場巡視～
氏名	フリガナ ()
産業医部会員の有無	① 産業医部会員 (地方会所属) ② 非産業医部会員
連絡先 (書類等の送り先)	(自宅 ・ 勤務先) 〒 _____ _____ 日中つながる番号をお書きください。 TEL : _____ FAX : _____ わかりやすくお書きください。 e-mail : _____
情報交換会 (懇親会)	① 参加する ② 参加しない
宿泊希望 (研修会場内)	① 希望する ② 希望しない
備考 (費用)	1. 受講料 ・ 産業医部会員 20,000 円 ・ 非部会員 (学会員かつ医師) 25,000 円 2. 情報交換会 (懇親会) 4,000 円 (希望者のみ) 3. 宿泊 (朝食付き、シングル、全室禁煙) 10,000 円 (希望者のみ)
連絡事項	

第 88 回日本産業衛生学会 (第 3 報)

第 88 回日本産業衛生学会 企画運営委員長 車谷典男

詳細は第 88 回日本産業衛生学会ホームページ (<http://convention.jtbcom.co.jp/jsoh88/>) に順次掲載します。

1. 会 期

2015 年 5 月 13 日 (水) ~ 同 16 日 (土)

2. 会 場

グランフロント大阪ナレッジキャピタル (コングレコン
ベンションセンター・カンファレンスルーム・イベント
ラボ)

〒 530-0011 大阪市北区大深町 3-1

3. 企画運営委員長

車谷典男 (奈良県立医科大学地域健康医学講座 教授)

4. メインテーマ

Quality of Working Life — グローバル化と労働形態多様
化の中での展望 —

5. 企画概要 (予定)

1) メインシンポジウム

A. 平成時代 (25 年間) の産業保健の評価

(座長: 山田裕一・伊藤正人)

B. Quality of Working Life — グローバル化と労働形
態多様化の中での展望 —

(座長: 車谷典男・福島哲仁)

C. 職域におけるメンタルヘルスの潮流と未来展望

(座長: 廣部一彦・大脇多美代)

2) シンポジウム, 産業保健の歴史と展望, 教育講演など
の特別プログラム

3) 一般演題 (口演およびポスター)

4) ランチョンセミナー等

なお, 特別研修会は開催しません。

6. 参加登録

事前登録は, 2015 年 2 月 23 日 (月) まで, 第 88 回日本
産業衛生学会ホームページ上で受け付けます。詳細につ
きましては学会ホームページ (<http://convention.jtbcom.co.jp/jsoh88/>) にて順次お知らせします。

①学会参加費

■学 会 員: 事前登録: 8,000 円

当日登録: 10,000 円

■非学会員: 事前登録: 9,000 円

当日登録: 10,000 円

■学生・大学院生: 事前登録: 6,000 円

当日登録: 8,000 円

※事前登録の締切以降は当日受付でお支払いください。

※事前登録をされた方には, 締切後に参加証を郵送いた
します。

②出題費

1 題につき 2,000 円。

筆頭発表者が必ず学会参加費とともに支払ってください。

③懇親会費 (会員・非会員共通)

事前登録: 9,000 円 当日登録: 10,000 円

学生・大学院生: 8,000 円

7. 演題申込および抄録原稿受付

一般演題の申込および抄録原稿の受付は学会ホームペ
ージよりインターネットにより行います。なお, 筆頭発表
者は, 演題申込締切日までに事前参加登録と出題費の支
払いを完了してください。

①演題申込および抄録原稿受付の期間

2014 年 11 月 6 日 (木) から 2014 年 12 月 11 日 (木)

午前 11 時 ※時間厳守

②申込方法

第 88 回日本産業衛生学会ホームページ (<http://convention.jtbcom.co.jp/jsoh88/>) からのオンライン申
込みです。

③発表形式

一般演題は口演発表またはポスター発表として, プロ
グラム委員会が演題の採否を決定します。口演かポス
ターかは演題申込み時に選択していただきますが, 最
終決定はプログラム委員会に一任ください。採否およ
び発表形式の通知は 2015 年 1 月下旬を予定しています。④一般演題の申込みは, 筆頭発表者 1 人につき 1 演題と
させていただきます。⑤筆頭発表者は日本産業衛生学会の会員であることが必
要です。会員でない方は速やかに入会手続きを済ませてくださ
い。そうでない場合には演題発表を取り消すことがあ
ります。なお, 入会手続きについては日本産業衛生学
会のホームページ (<http://www.sane.or.jp/>) をご覧
いただくか, 下記事務局へご連絡ください。

〒 160-0022 東京都新宿区新宿 1-29-8 公衛ビル内

TEL: 03-3356-1536 FAX: 03-5362-3746

ホームページ: <http://www.sane.or.jp/>

8. 懇親会

日時: 2015 年 5 月 15 日 (金) 18:30 開始 (予定)

会場: ヒルトン大阪 5 階桜の間

(〒 530-0001 大阪市北区梅田 1-8-8)

9. 研修単位の認定

特別プログラムに対して日本医師会認定産業医制度によ
る単位認定を申請予定です。日本産業衛生学会産業看護
師: 産業看護職継続教育システム・実力アップコースの
単位認定を申請予定です。

10. 委員会, 研究会等の申込

会期中に委員会, 部会, 研究会等の会場を学会会場内
にご用意いたします。第 88 回日本産業衛生学会ホームペ
ージ (<http://convention.jtbcom.co.jp/jsoh88/>) にて申込方
法をご案内します。締切後, 日時・部屋割の調整をいた
しますが, ご希望に添えない場合もあります。

11. 今後のスケジュール概要 (予定)

演題申込期間: 2014 年 11 月 6 日 (木) ~

2014 年 12 月 11 日 (木)

委員会・研究会等申込期間: 2014 年 11 月 20 日 (木) ~

2014 年 12 月 19 日 (金)

ランチョン・イブニングセミナー申込締切:

2014 年 12 月 12 日 (金)

広告申込締切: 2015 年 2 月 16 日 (月)

企業展示・書籍展示申込締切: 2015 年 2 月 16 日 (月)

学会参加・懇親会登録締切: 2015 年 2 月 23 日 (月)

※詳細につきましては, 今後「産業衛生学会学会誌」に
掲載するほか学会ホームページ等でも順次公開してい
きます。

12. 宿泊

宿泊申込方法については第 88 回日本産業衛生学会ホームページ (<http://convention.jtbcom.co.jp/jsch88/>) に掲載いたします。宿泊を希望される方は、ホームページにて詳細をご確認ください。

13. 連絡先

(1) 学会事務局

〒634-8521 奈良県橿原市四条町 840

奈良県立医科大学地域健康医学教室内「第 88 回日本産業衛生学会」学会事務局

(2) 運営事務局

〒530-0001 大阪市北区梅田 3-3-10 梅田ダイビル 4 階
株式会社 JTB コミュニケーションズ コンベンション事業局内「第 88 回日本産業衛生学会」運営事務局

TEL : 06-6348-1391 FAX : 06-6456-4105

E-mail : jsch88@jtbcom.co.jp

**放射線医学総合研究所（千葉市）
日本医師会認定産業医制度に基づく
生涯研修**

日 時：平成 26 年 11 月 22 日（土） 14：30～17：50

場 所：独立行政法人放射線医学総合研究所 研修棟

千葉市稲毛区穴川 4-9-1（JR 総武線稲毛駅（快速停車）より徒歩約 15 分）

内 容：放射線の基礎と健康影響（60 分 単位 専門 1）

労働者の放射線被ばく管理（60 分 単位 専門 1）

放射線の環境等測定の実際（60 分 単位 専門 1）

※すべて受講いただきますと、「単位 専門 3」となります。

受講料：5,000 円（当日現金にて徴収いたします。）

募集人数 20 名

（先着順となります。募集人数に達した時点で募集を締切させていただきます。）

研修の詳細につきましては、当研究所 HP をご覧ください。

http://www.nirs.go.jp/information/training/invitation/2014/2_sangyoi.shtml

お問い合わせにつきましては、人材育成センター研修業務室

TEL 043-206-3048 E-Mail moushikomi@nirs.go.jp

までお願いします。